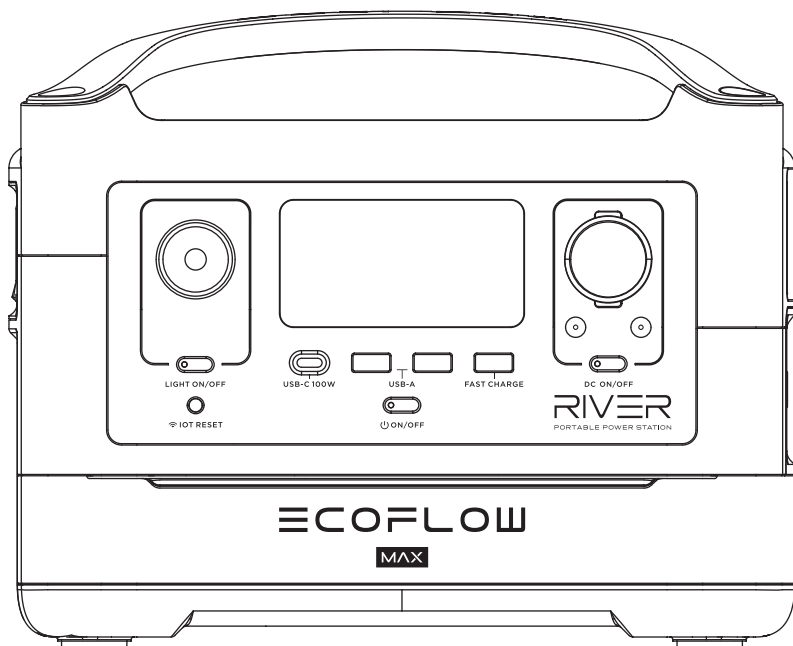


ECOFLOW

ユーザーマニュアル

RIVER

PORTABLE POWER STATION



お問い合わせ：
support.jp@ecoflow.com
<https://jp.ecoflow.com/>



1. 高温・多湿を避け、直射日光の当たらない場所で保管してください。
2. 分解・解体・改造・焼却はしないでください。また、強い衝撃を避け、変形や変色が見られる場合は使用を中止してください。
3. 廃棄場所の規制に従って、正しくリサイクルまたは廃棄してください。

製品に関する安全上の注意事項

警告

間違えた使い方により、火災や物・人身の損害に繋がる恐れがあります。下記の安全に関する説明に従って製品を使用してください。

製品を使用する際は、下記の注意事項に従って安全に使用してください

- a) 製品を使用する前に、必ず本マニュアルをお読みください。
- b) 小さなお子様だけの使用は避け、お子様の近くで使用する場合も、十分安全に配慮して使用してください。
- c) 製品のポートに指など身体の一部および異物を入れないでください。また、濡れた手で製品を操作・使用しないでください。
- d) 付属の充電ケーブルを含む弊社のアクセサリ以外は、火災・感電・破損の恐れがあるので使用しないでください。
- e) 本体の冷却ファンを塞ぐ、直前に物を置くなどして、空気の流入・排出を妨がないように使用してください。
- f) 製品が損傷(変形・変色・正常に作動しない)した場合、使用しないでください。また、改造されたバッテリーパックや電気製品は接続・使用しないでください。
- g) 破損または破損の恐れのあるコード、プラグ、ケーブルなどは製品に接続しないでください。
- h) サービスまたは修理が必要な場合は、お客様ご自身で製品を分解・修理はせず、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- i) 輸送の際は製品から全てのプラグ、ケーブル、コネクタ類を外し、電源をオフにしてから安全に梱包してください。
- j) 充電は高温多湿を避け、換気の良い場所で行ってください。また、充電が完了したら、速やかにプラグをコンセントから抜き、充電ケーブルを取り外してください。
- k) 破損など不適切な条件下では、バッテリーから電解液が漏れる恐れがあります。万一電解液が漏れた場合は、直接触らないでください。誤って皮膚に触れたり、目に入ったりした場合、十分に流水で洗い流して、直ちに専門医の診断を受けてください。
- l) 直射日光の当たる場所や、夏場の車内など極端に高温な場所に長時間放置・保管しないでください。
- m) 製品の修理は弊社サポートセンター、もしくは弊社が適切な技術を有すると認められた有資格者のみが行ってください。
- n) 家庭用 AC コンセントから充電する場合、日本仕様は 100V、アメリカ仕様は 120V のみ対応します。これ以上高い電圧で充電すると、故障や破損の原因となります。
- o) 不適切な使用・用法、お客様の瑕疵による破損の場合、無料・有償を問わず修理サービスを提供できない場合があります。

製品の充電

1. 必ずEcoFlowの純正充電ケーブルで充電してください。EcoFlowの純正充電ケーブル以外のケーブルで充電したことによる結果に対して、弊社は責任を負いかねます。
2. 充電する際、本体はセメント舗装のような周囲に引火性・可燃性物質のない地面に置いてください。充電中は、思わぬ事故が起これないように、その場から離れないでください。
3. 持続的な全負荷放電の後、電池が過熱状態になっている場合、製品を室温まで冷却させてから充電することをおすすめします。そのまま充電すると、充電ができない状態になることがあります。充電に適した環境温度は0°C～40°Cです。最も望ましい環境温度(22°C～28°C)で充電することで、電池の寿命を延ばすことができます。

製品の保管と輸送

1. 本製品は子供の手の届かない場所に保管してください。子供が部品を誤食してしまった場合、直ちに医師の診断を受けてください。
2. 使用後、ディスプレイに低電量の表示が出た場合、充電してから収納してください。充電せずに長期間保管すると、電池の破損に繋がる恐れがあります。残量が極めて低く、かつ長期間使用されない場合、電池はディープスリープモードに入ります。電池をディープスリープモードから活性化するには、製品を充電する必要があります
3. 本製品を熱源の近く(例：直射日光の当たる車内、発火源や加熱炉など)に置かないでください。
4. 本製品は乾燥した環境で保管してください。本製品を水に浸したり、水漏れしやすい場所に置いたりしないでください。
5. 本製品をメガネ、腕時計、金属ネックレス、ピンやその他金属製品と一緒に保管・輸送しないでください。
6. 本製品を電池残量30%以上の状態で輸送することをお控えください。

電池の廃棄

電池は完全に放電させた後、指定の電池回収箱に廃棄してください。電池は危険化学品ですので、一般ゴミに出さないでください。詳細については、所在地の電池回収・廃棄の法律・法規に従ってください。

製品の保守

1. 製品を60°C以上、または-10°C以下の室温環境で保管しないでください。
2. 約3ヶ月ごとに1回充電・放電し、電池の活性を保ってください。

機内持ち込みについて

本製品は、航空機内への持ち込みはできません。

はじめに・本書の内容

この度は高品質ポータブルバッテリー-RIVER 600 Maxをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品は、搭載されている電池の寿命を延ばし、安全にお使いいただくため、出荷時は電源がオフになっています。お使いになる際には、電源ボタンを長押しして、電源をオンにしてください。

長期間お使いにならない場合は、安全のために本体の充電容量を50～70%程度にし、電源ボタンを長押しして電源をオフにしてください。また、高温・低温・多湿を避け、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

安全上、約3ヶ月ごとに1回電源をオンにして適切な充電容量を確認・維持し、各部の機能に異常がないか確認してください。

※製品内容に不足がある場合はsupport.jp@ecoflow.com、もしくは弊社サポートセンターまでご連絡ください。

本製品の使用、保守と安全性に関して

ご使用前に本マニュアルをよくお読みいただき、説明に従って使用してください。

ご注意

本製品の電源をオン/オフするには、電源ボタンを押してください。AC出力ポートを使用する場合、本体がオンになった状態でAC出力電源ボタンを押してください。この独特な仕組みの目的は、電池電量を節約して必要時に備えることです。本マニュアルは各ポートやボタン、ディスプレイ表示などについて詳しく説明しています。

目次

アプリのダウンロードと登録方法	1
機能の説明	4
ディスプレイの表示	6
ソーラーパネルの接続方法	8
エントリーレベル自動電源切替機能	9
X-Boost機能について	10
LEDライトエリアについて	11
製品仕様	12
本製品の充電方法	12
よくあるご質問	13
同梱物	14

アプリのダウンロードと登録方法

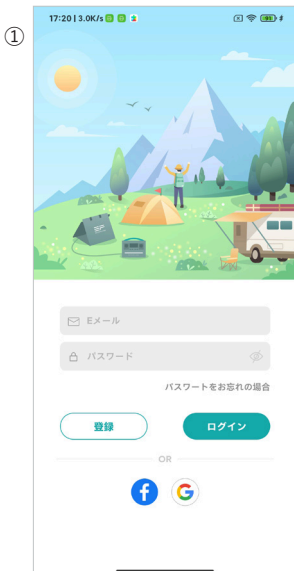
スマートフォンで下記QRコードをスキャンし、または下記サイトかアップルストアやアンドロイドショップでEcoFlowアプリケーションを検索してダウンロードしてください。

<https://jp.ecoflow.com/pages/river-600-app-download>



1.RIVER 600アプリに登録する

- ① アプリを開き、「登録」をクリックして個人情報を入力してください(すでにアカウントをお持ちの場合は、直接ログインしてください)。
- ② 個人情報を入力した後「送信」をクリックすると、登録認証メールが届きます。



2. 製品本体とアプリを接続する

屋外モード：本体のホットスポットに直接接続する(本体が近くにあること、スマートフォンが本体のWi-Fi通信可能範囲内にあることが必要)

①

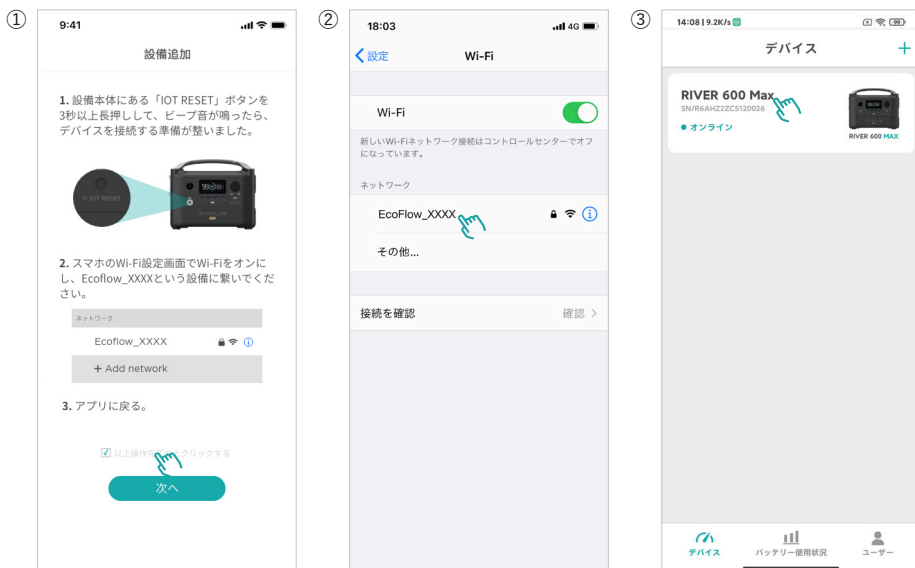
- ・アプリを開き、画面の右上にある「+」をクリックします。
- ・本体のWi-Fiをリセットするには、本体のIOT RESETボタンをピーブ音が鳴るまで3秒以上押し続けてください。

②

スマートフォンのシステム設定 ⇒ Wi-Fi設定 ⇒ EcoFlow_XXXXのWi-Fiホットスポットに接続します。

③

アプリを開き、「近くの設備」タブに切り替えると、自動的に設備を検索します(設備が表示されない場合は、ページをスライドしてリストを更新すると、もう一度検索できます)。設備をクリックして接続が成功すると、設備のデータが表示されます。



屋内モード：ルーターに接続する(リモートコントロール対応)

①

- ・アプリを開き、画面の右上にある「+」をクリックします。
- ・設備の本体にあるIOT RESETボタンをピープ音が鳴るまで3秒以上押し続けてください。
- ・スマートフォンのシステム設定⇒Wi-Fi設定⇒EcoFlow_XXXXのWi-Fiホットスポットに接続します。
- ・アプリに戻ります。
- ・「以上操作を完了の上クリックする」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

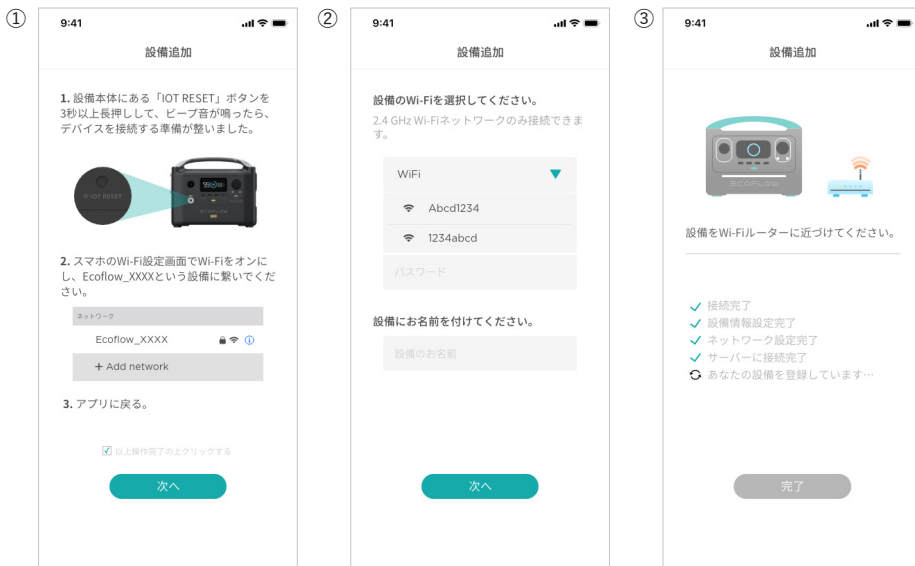
②

- ・2.4GHz Wi-Fiを選び、パスワードと設備の名前を入力して次へ進みます(2.4GHz Wi-Fiのみ接続できます。また、アルファベットと数字で名前をつけたWi-Fiのみ識別できます)。
- ・設備の名前を設定し、「次へ」をクリックします。

③ 下記動作を確認：

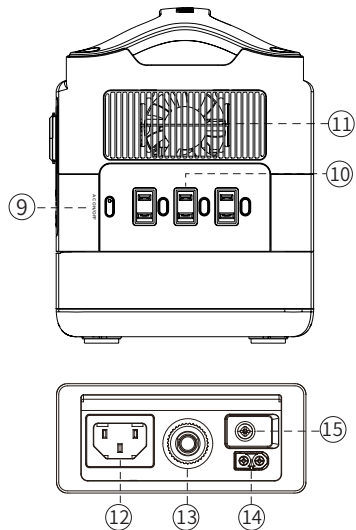
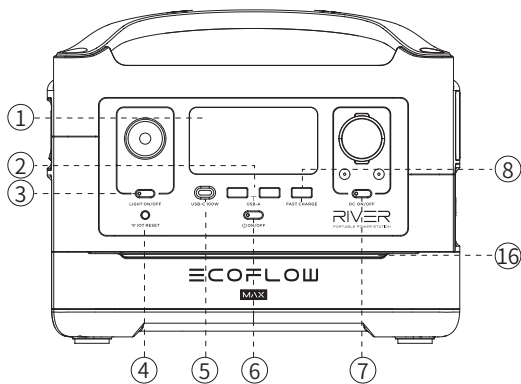
- ✓ 設備完了
- ✓ 設備情報設定完了
- ✓ ネットワーク設定完了
- ✓ サーバーに接続完了
- ✓ 登録完了

失敗した場合は、2.4GHzネットワークであることを確認し、製品本体をルーターの近くに移動させた後、最初からお試ください。



3. 詳しい機能については、アプリの説明、または<https://jp.ecoflow.com/>にアクセスし、チュートリアルをご覧ください。本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

機能の説明



- | | | |
|----------------------|----------------------|---------------------|
| 1. 液晶ディスプレイ | 7. DC出力ボタン(車載充電出力ポ | 12. AC充電入力ポート |
| 2. USB-Aポート | ート×1、DC出力ポート×2) | 13. 充電過負荷保護スイッチ |
| 3. LEDライトボタン | DC出力ポートインジケータ | 14. ソーラーパネル/シガーソケット |
| 4. IoTリセットボタン | 8. 快速充電USB-Aポート | 充電入力ポート |
| (3秒長押しでWiFiをリセット) | 9. AC出力電源ボタン | 15. アース接続ポート |
| 5. 快速充電100W USB-Cポート | 10. 100W AC出力コンセント×3 | 16. LEDライトエリア |
| 6. 電源/液晶ディスプレイボタン | 11. 冷却ファン | |

1. **液晶ディスプレイ** - 電池残量と使用時の状態を表示します。

2. **USB-Aポート** - USB-Aポートを通じて充電可能なデバイス(例：iPhone、タブレット、GoPro、スピーカーなど)に充電します。USB-Aポートの使用時、ディスプレイにUSB-A出力アイコンが自動で表示されます。

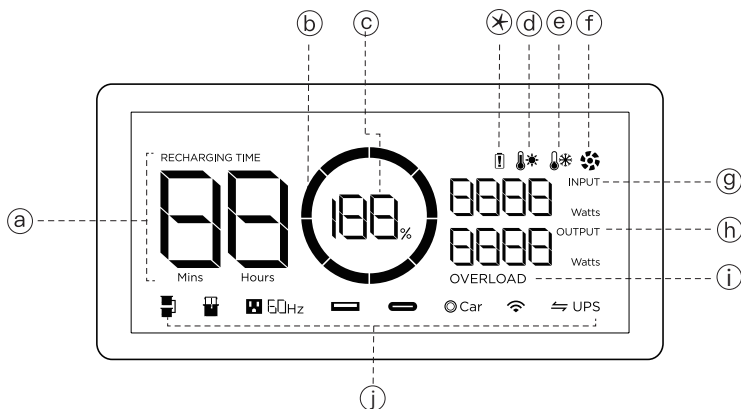
3. **LEDライトボタン** - LEDライトは弱光、強光、SOS点滅信号があります。軽く1回押すと弱光に、もう1回押すと強光に、さらにもう1回押すとSOS点滅信号に切り替わります。最後にもう1回押すとLEDライトがオフになります。切り替えの途中で長押ししてもLEDライトをオフにできます。

4. **IoT(モノのインターネット)リセットボタン(3秒長押しでWi-Fiをリセット)** - 初めてお使いになる時、またはインターネット環境が更新された時、3秒長押しでWi-Fiをリセットします。スマートフォンと接続して、アプリでワイヤレスネットワークを設定してください。IoTを使用する際は、電池電量が残っていることを確認、または本体を充電ケーブルで電源に接続してください。

5. **快速充電100W USB-Cポート** - MacBook Proのほか、Androidスマートフォンおよびその他USB-Cポートで充電可能なデバイスに充電できます。USB-Cポートの使用時、ディスプレイにUSB-C出力アイコンが自動で表示されます。
6. **電源/液晶ディスプレイボタン・電源インジケータ** - 製品本体の電源をオン/オフにします。本体の電源がオンになると、液晶ディスプレイが起動します。本体の作動中に液晶ディスプレイをオン/オフするには、電源ボタンを短く押ししてください。出力ポートが使用されていることを検出すると、電源インジケータが自動で点灯します。また、出力ポートがいずれも使用されておらず、未作動状態が5分以上続くと、液晶ディスプレイはスリープ状態に入りますが、本体の作動は停止しませんが、未作動状態が30分以上続くと、本体は自動でオフになります（未作動時間はアプリで設定可能）。
7. **DC出力ボタン(車載充電出力ポート×1、DC出力ポート×2)・DC出力ポートインジケータ** - 製品本体のDC電源をオン/オフにし、車載充電出力ポート1個とDC出力ポート2個を制御します。車載充電ポートは最大10Aの出力に対応し、市販の車載電気製品に適用します。自動車の12V鉛蓄電池も充電可能です。
8. **快速充電USB-Aポート** - USB-Aポートの使用時、ディスプレイにUSB-A出力アイコンが自動で表示されます。快速充電機能に対応するデバイスを最大28Wの速度で充電可能です。快速充電機能に対応していないデバイスは、通常の速度で充電します（専門業者の指導を受けてご使用ください）。
9. **AC出力電源ボタン** - AC電源ボタンは製品本体のAC出力を制御します。AC電源をオンにするには、AC出力電源ボタンを押してください。AC電源でデバイスに充電していない時は、AC出力電源ボタンでAC電源をオフにし、充電ケーブルをポートから抜いてください。AC電源がオンになっている間、AC出力インジケータが点灯します。12時間以上AC電源を使用していない場合、AC出力インジケータは消灯します。
10. **100V AC出力コンセント×3** - 定格電圧100Vのデバイス(例：ノートパソコン、エレキギター、テレビ、ミニ冷蔵庫、真空掃除機など)に充電できます。X-Boost機能で、消費電力600 W～1200Wの電気製品にも使用できます(全ての電気製品に対応するわけではありません。使用可能かどうかを事前に確認してください)。
11. **冷却ファン** - 本体の過熱を防止します。
12. **X-STREAM充電入力ポート** - X-STREAM充電入力ポートで、後述のX-STREAMシステムを使用できます。市販の3ピンプラグAC充電ケーブル(電流15Aに対応)で、家庭用ACコンセントに接続してください。アメリカおよび日本仕様は100V～120V(50Hz/60Hz)、国際仕様は220V～240V(50Hz/60Hz)の充電にのみ対応します。X-STREAMシステムは簡易のUPS(無停電電源装置)機能を備えています。本製品が家庭用ACコンセントに接続した状態で、本体のACコンセントから電気製品に給電している時、接続されている電気製品は本製品から給電されているのではなく、家庭用ACコンセントからの電力を使用しています。突然断電した場合、本製品は30ミリ秒以下で電池給電モードに自動で切り替わります(本機能は本格的なUPS機能ではなく、0ミリ秒の切り替えには対応していないため、無停電給電を必要とする設備は接続しないでください。また、使用可能かどうかを繰り返し確認した上でご使用ください。例：データ・サーバーやワークステーションなど)。
13. **充電過負荷保護スイッチ** - 充電時、AC電流が持続的に10Aを超えた場合、AC充電ポートの保護を開始します(スイッチがポップアップします)。本体に故障がないことを確認した後、保護スイッチをリセットすることで充電を再開することができます。

14. ソーラーパネル/シガーソケット充電入力ポート - 最大2枚の110Wソーラーパネルの並列接続に対応していますが、製品本体は200Wまでの入力にしか対応していません。また、12V/24V 最大10Aの車載電源の入力にも対応しています。エンジンをかけてからシガーソケット充電を行ってください。自動車バッテリーの電量消耗による起動不能に繋がる恐れがあります。
15. アース接続ポート - 一部の電気製品は、アース接続を必要とします。必要に応じてこのポートでアースしてください。
16. LEDライトエリア - アプリでライトの色・輝度・モードをお好みに合わせて調整することができます。

ディスプレイの表示



- a. 充電可能/放電可能時間 - 現在の電気消費状況に応じた充電/放電の可能時間を表示します(単位：分)。
- b. 電池残量表示 - 電池残量を表示します。充電時、環状アイコンが回転します。
- c. 電池残量パーセント - 電池残量をパーセントで表示します。電池残量が0%になったら、直ちに充電してください。
- d. 過熱インジケータ - 本体が過熱状態になると、過熱警告アイコンが表示されます。本体の温度を下げてください。
- e. 過冷インジケータ - 本体が過冷状態になると、過冷警告アイコンが表示されます。本体の温度を適切に上げてから使用してください。
- f. ファンインジケータ - ファンの回転速度が表示されます。回転速度は本体が自動で管理します。
- g. 現在の入力 - 現在の入力ワット数を表示します。
- h. 現在の出力 - 現在の出力ワット数を表示します。
- i. 過負荷警告 - その他アイコンとの組み合わせによって、過負荷となっているモジュールを表示します。
- j. ポート使用インジケータ - 各ポートの使用状態を表示します。
- *・保護情報の表示・説明 - それぞれのアイコンおよびその組み合わせによって、本体保護の原因を表示します。

-  OVERLOAD
 - ・ **USB-A過電流保護** - USB-AアイコンとOVERLOADアイコンが同時に点滅する場合、電気消費設備との接続を切り、10秒後に自動で作動を再開します。

- 
 - ・ **USB-C過熱保護** - USB-Cアイコンと過熱アイコンが同時に点滅する場合、ポートの冷却後、自動で作動を再開します。

-  OVERLOAD
 - ・ **USB-C過電流保護** - USB-CアイコンとOVERLOADアイコンが同時に点滅する場合、電気消費設備との接続を切り、10秒後に自動で作動を再開します。

- 
 - ・ **充電過熱保護** - RECHARGING TIMEアイコン、感嘆符アイコン、過熱アイコンが同時に点滅する場合、とくに長時間作動させた後にすぐに充電すると、この状態となります。温度が下がるまで、しばらくお待ちください。

- 
 - ・ **放電過熱保護** - 感嘆符アイコンと過熱アイコンが同時に点滅する場合、電池を適切に冷却させてください。

- 
 - ・ **充電過冷保護** - RECHARGING TIMEアイコン、感嘆符アイコン、過冷アイコンが同時に点滅する場合、電池の温度を適切に上げてください。

- 
 - ・ **放電過冷保護** - 感嘆符アイコンと過冷アイコンが同時に点滅する場合、暖かい場所に置いて電池の温度を上げてください。

- 
 - ・ **充電過電流保護** - RECHARGING TIMEアイコン、感嘆符アイコン、OVERLOADアイコンが同時に点滅する場合、プラグを抜いて本体を再起動し、再度プラグを差し込んでください。

- 
 - ・ **放電過電流保護** - 感嘆符アイコンとOVERLOADアイコンが同時に点滅する場合、電気消費設備との接続を切り、本体を再起動してください。定格出力内で電気消費設備を使用してください。

- 
 - ・ **主制御ボードとBMSの通信エラー** - 感嘆符アイコンが点滅した場合、本体を再起動してください。

- 
 - ・ **常時点灯** - 感嘆符アイコンが常時点灯になった場合、電池故障を示します。

- 
 - ・ **主制御ボードとACの通信エラー** - ACアイコンが点滅した場合、本体を再起動してください。

- 
 - ・ **インバータ出力過負荷** - ACアイコンとOVERLOADアイコンが点滅してから10秒後、AC電源ボタンを再度オンにしてください。定格出力内で電気消費設備を使用してください(X-Boost機能使用時の消費電力は限られています。11ページの「X-Boost機能について」をご参考ください)。

- 
 - ・ **インバータ過熱保護** - ACアイコンと過熱アイコンが同時に点滅する場合、ポートを冷却させてください。温度が下がったら正常に動くようになります。

- 
 - ・ **インバータ過冷保護** - ACアイコンと過冷アイコンが同時に点滅する場合、暖かい場所に置いてインバータの温度を上げてください。温度が下がったら正常に動くようになります。

◎ Car OVERLOAD

・ **車載充電過電流/過負荷** - CarアイコンとOVERLOADアイコンが点滅する場合、本体を再起動してください。定格出力内で電気消費設備を使用してください。

◎ Car *

・ **車載充電過熱保護** - Carアイコンと過熱アイコンが同時に点滅する場合、ポートを冷却させてください。温度が下がったら正常に動くようになります。



・ **ファンの詰まり** - ファンアイコンが点滅する場合、ファンに異物が詰まっていないか確認してください。異物が詰まっている場合、本体の電源をオフにして取り除いてください。

ソーラーパネルの接続方法

本製品にソーラーパネルで充電する方法

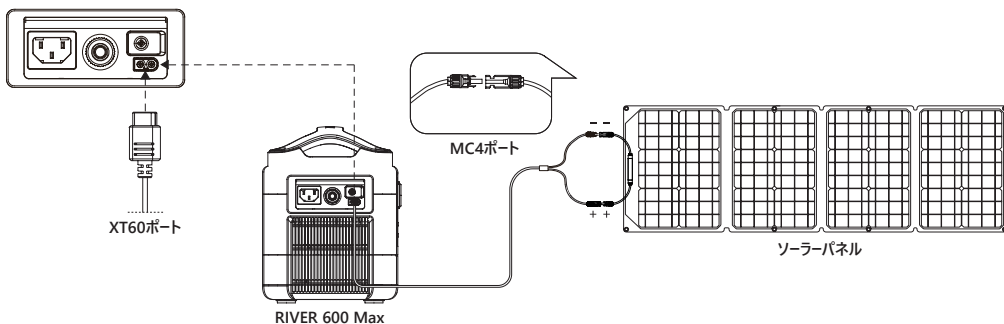
本製品は最大2枚のソーラーパネルを接続でき、10V～25VのDC入力に対応しています。入力が25Vを超えると過圧保護が作動します。電圧が高すぎると製品の破損に繋がることがありますので、本マニュアルの説明に従って接続・充電してください。本マニュアルに示す接続枚数を守らなかった、あるいは説明の通りに接続しなかった場合、弊社はそれにより破損した本製品に対して、無償保証期間中であっても無償修理を提供しかねます。

1. ソーラーパネルを接続/並列接続する(推奨)

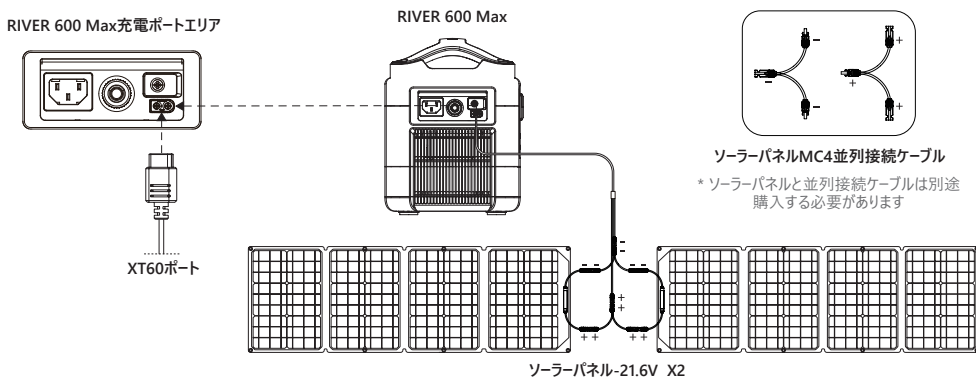
ケース1の場合、まずソーラーパネル1枚(2枚の直列接続にはお勧めしません)を弊社のMC4-XT60変換用ケーブルのMC4ポートに接続します。次に、ケーブルのXT60コネクタを本体のXT60ポートに接続すると充電できます。また、ケース2のように、最大2枚のソーラーパネルを接続することも可能です。2枚のソーラーパネルを並列接続ケーブルで繋いで弊社のMC4-XT60変換用ケーブルに接続し、ケーブルのXT60コネクタを本体のXT60ポートに接続すると充電できます。並列接続ケーブルは本製品に付属しておりませんので、別途購入する必要があります。

ケース1:

RIVER 600 Max充電ポートエリア

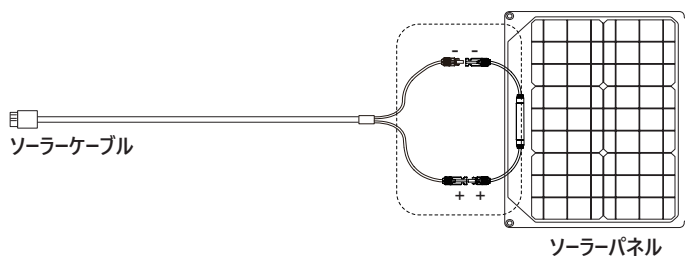


ケース 2 (並列接続のみ):



2. サードパーティー製のソーラーパネルのご使用について

弊社の設備要求(10V~25V /12A最大)に電圧と電流が適合する製品であれば、お客様ご自身で購入した市販のMC4ポート付きソーラーパネルと弊社のMC4-XT60変換用ケーブルで充電することもできます。下図に示す正負極の接続順に従ってください。誤接続は本体の破損に繋がる恐れがあります。品質保証期限内にサードパーティー製ソーラーパネルの品質問題、または不適切な操作による故障で製品本体の破損に繋がった場合、弊社は品質保証期限内でも無償修理を提供しかねます。



エントリーレベル自動電源切替機能

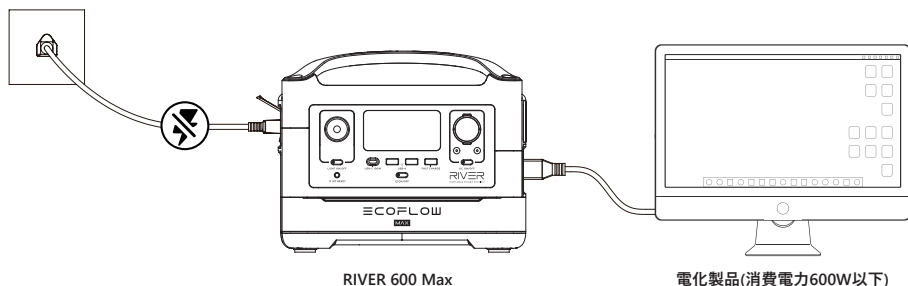
エントリーレベル自動電源切り替え機能使用時の注意事項

本製品が家庭用ACコンセントに接続した状態で、本体のACコンセントから電気製品に給電している時、接続されている電気製品は本製品から給電されているのではなく、家庭用ACコンセントからの電力を使用しています。突然断電した場合、本製品は30ミリ秒以下で電池給電モードに自動で切り替わります。

※本システムはUPS機能を提供するものではありません。また、接続先の無停電状態を保証するものでもありません。

本製品をAC充電ケーブルで家庭用ACコンセントに接続します。電化製品を本製品のAC出力ポートに接続してから本体のAC電源ボタンをオンにすると、エントリーレベル自動電源切替機能になります。停電した場合、本製品からの給電が開始され、電化製品は動作を続けられます。(下図参照)。

*本システムは消費電力600W以下の設備1台にのみ対応します。複数の設備への給電は推奨しません。



X-Boost機能について

X-Boost機能は、ACインバータを通じて一部の定格消費電力600W～1200Wの電気製品を使用することができ、同時に過負荷保護断電を防止します。蓄電バッテリー向けの機器を別途購入する必要がありません。一般的なインバータは、定格出力以上の電気製品を使用すると電気製品が過負荷となり、使用不可となります。使用にあたっては、下記の注意事項があります：

- 1、X-boost機能は出荷時点でオンになっています。本機能を使用する場合は、アプリで起動してください。家庭用ACコンセントから本製品に充電しながら、X-Boost機能を使用するのはおやめください。安全システムが作動し、ブレーカーが落ちる恐れがあります。
- 2、本製品は充電中、またはX-Boost機能がオンになっていない状態では、X-Boost機能を使用することはできませんのでご注意ください。
- 3、定格消費電力600W～1200Wの電気消費設備を使用する場合、1台のみ接続してください。複数の電気消費設備を同時に接続しますと、電圧変化がその他設備の使用効果に影響を及ぼすことがあります。

* X-Boost機能は定格消費電力600W～1200Wの電気消費設備にのみ対応します。しかし、全ての電気製品に適用するわけではなく、定格消費電力600W～1200Wであっても電圧について特別な要求のある一部の電気消費設備には適用しません。外出先で使用する場合など、あらかじめ使用可能かどうかテストしてください。また、エアコンやコンプレッサーで本機能を使用することは推奨しません。

LEDライトエリアについて

1. ライトのインジケータについて



電源オン時のインジケータ：青色ライトが中央から両側へ点灯します。



電源オフ時のインジケータ：青色ライトが両側から中央へ点灯します。



充電インジケータ：青色ライトが左から右へ繰り返し点灯します。

2. LEDライト設定について



アプリの「LEDライト設定」をクリックすると、ライトの色・輝度・モードを設定できます。

1. LEDライトをオン/オフ、または常時点灯にすることができます。
2. お好きな色を選択できます。
3. 明るさを調整できます。
4. モードの設定も可能です。お好きな色を選択し、多彩なライトを楽しむことができます。

製品仕様

基本仕様

本体重量	17 lbs (7.7kg)
寸法	11.3×7.3×9.96in (28.8×18.5×25.3cm)
バッテリー容量	576Wh(160,000mAh)
認証基準	UL CE FCC RoHS

出力

AC 出力 (x3)純正弦波	600W (サージ 1200W), * 100Vac(50Hz/60Hz) <small>*X-Boost機能を付けない場合は、電圧は100Vとなります。</small>
USB-A 出力 (x2)	5V DC, 2.4A, 12W
USB-A Fast Charge (x1)	5V DC, 9V DC, 12V DC, 2.4A, 28W
USB-C 出力 (x1)	5V DC, 9V DC, 15V DC, 20V DC, 5A, 100W
車載充電ポート出力(x1)	13.6V, 13.6V DC, 10A
DC5521 出力 (x2)	13.6V DC, 3A

入力

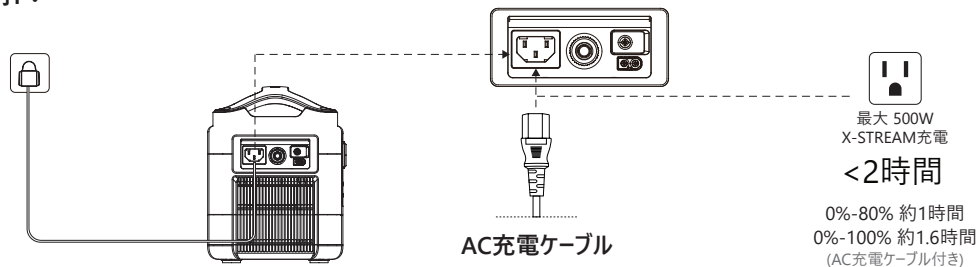
AC充電入力電圧	100-120Vac (50Hz/60Hz)
AC充電入力値(例1)	最大500W
ソーラー充電入力	200W 10-25V DC 12A
シガーソケット充電(例2)	12V/24V DC 10A

電池

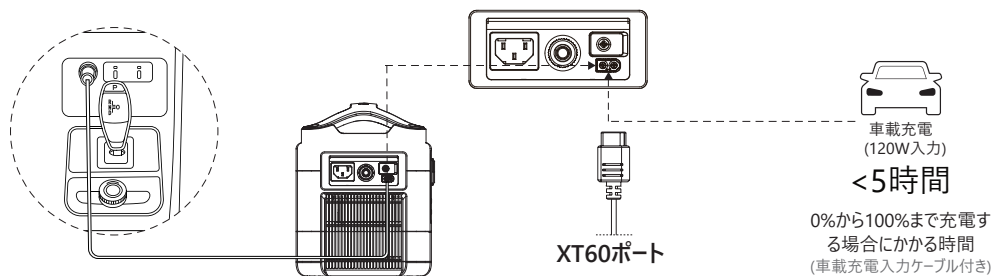
電池タイプ	三元素リチウムイオン
放電温度	-4-140°F +/-5°F(-20-60°C +/-3°C)
充電温度	32-113°F +/-5°F(0-45°C +/-3°C)
保証期間	2年間
使用サイクル	800+

本製品の充電方法

例1:



例2:



充電について

本製品の側面には、AC充電ポートとXT60充電ポートが各一個あります。家庭用ACコンセントまたは12V/24V車載シガーソケットから、またソーラーパネルで充電することは可能です。


よくあるご質問

・本体のお手入れ

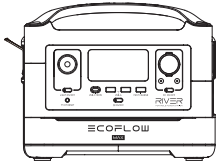
製品本体に付いた汚れや埃は、思わぬ故障や変色などを招く場合があります。溶剤やクリーナーの使用は避け、適時乾いた布や固く絞った布で本体を拭いてください。それでも取れない汚れは中性洗剤を水で薄め、固く絞った布で拭いてください。本体やコネクタ部分に水分や湿気が残った状態で使用しないでください。本体に変形、変色、液漏れや異音、発煙などがある場合は直ちに使用を中止して、弊社サポートセンターまでご連絡ください。また水濡れ、極端な高温/低温、多湿、直射日光が長時間当たる場所での使用は避けてください。

・製品の長期保管方法

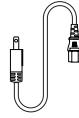
本製品は独自の高度なバッテリー管理システムを搭載し、長期間のバッテリー電力管理が可能ですが、長期間使用しないで保管する場合は、下記に留意して正しく保管してください。

- ・本体の充電容量を50～70％程度にし、本体電源をオフにしてください。
- ・高温・低温・多湿を避け、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。
- ・横向きや逆さにしての使用、保管はしないでください。
- ・安全上、約3ヶ月に1回電源をオンにして適切な充電容量を確認・維持し、各部に異常がないか確認してください。
- ・製品を安全に使用するために、温度や湿度など適切な作動条件で使用してください。
- ・製品本体を水に浸けたり、濡れた状態で使用したりしないでください。
- ・製品本体は横向きや逆さにしないで、平らな安定して設置できる場所で使用してください。
- ・本体バッテリーを0％まで使った直後は、本体温度が高くなっているため、すぐに再充電ができない場合があります。
- ・本体温度が高い場合はLED画面に RECHARGING TIME * が表示されます。しばらく放置し、表示マークが消えてから再充電してください。

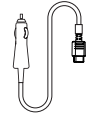
同梱物



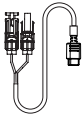
EcoFlow RIVER 600 Max本体



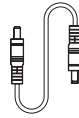
本体専用AC充電
ケーブル



専用車載充電ケーブル



専用ソーラーパネル充電ケーブル
(MC4 - XT60変換用)



DC5521 - DC5525ケーブル



ユーザーマニュアル &
保証カード